

建設委員会会議録

平成18年5月30日(火)

(開 会) 10:03

(閉 会) 15:32

○ 副委員長

ただいまから建設委員会を開会いたします。

「所管事務の調査について」を議題といたします。

ただいまから建設委員会所管施設の現地調査を行います。

暫時休憩に入りたいと思います。

委員の皆さん並びに現地調査に参加される執行部の皆さんは、第1別館車庫(市長等公用車置き場)の前に集合してください。

休 憩 10:05

(所管施設の現地調査)

再 開 15:20

大変お疲れのところ、ただいまから委員会を再開いたします。

引き続きまして、質疑・討論のある方について、お受けいたしたいと思います。

○ 永末委員

私は、旧庄内の永末と申します。

先ほどですね、車の中で副委員長からも言われていた17番のことについて、ちょっとお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いします。

皆さん、さっきの副委員長の話で、これはどこの土地かということは、もう皆さん承知と思います。

そうした中で、こういう土地にですね、これは会社所有の土地ですよ。

これを買収して市が仕事をしていいのかということなんですよ。

というのは、本来ならば、会社なり何なりがあそこに事業を目的として道を造るんだと。

出来上がったときに市に、何と言いますかね、寄贈ですかね、そういうことをしてやるのが普通と私は思っております。

そうした中にいろんなことで庄内町、ああいう土地があって迷惑しようとか、何とかいうことはあるかもしれんけど、私はこれはやっぱり町が先にこういうことをするもんじゃないと思います。

6億も、ましてかかるようなことであれば、ほかに何ぼでもお金が足りんで必要性のあるところがあると思うんですよ。

こういうことから、そのこのところの計画なり何なりがあるとなれば、そこをしっかりと教えてもらいたい。

それとこれが労働事業でやるということになると、これがだいたい半分程度の国からのあれがありますね、助成と言いますかね。

これがもし途中で切れたりすると、それは全部市の負担になってくると思うんです。

そういうこととか、いろんなことを考えたときに、あの道を造ることによって市民に対してどのくらいの恩恵があるのか、あなた方さっきバイパスにどうかどうか言われよりましたね、接続と。

そういうことならんのですよ。

あの道に入って、わざわざ入って行って、出て行きますね、どっちから、右からでも左からでもいいけど、そうしたらまたバイパスにのるために、また別な道を通って行かないかんですよ。

バイパスに直接あれつながらんとですよ。

それで普通の人を通るとすれば、今日バスが通った路線をさあつと行ってバイパスに立地区とかいうところからずうっと乗り上げていくと思うんです。

バイパスにのるとにわざわざ遠回りしてのる人はおらん。

そうした中でちょっと私はどうしても納得いかんという感覚を前から持ってるんです。

そこんところ何か執行部の方でちゃんとした説明があれば聞かせてもらいたいと思いますが、いかがですかね。

○ 建設部長

何点かご質問がございましたけれども、一応会社、個人所有の土地に道路を造るのは、市が造ってよいのかというお話が一点ございましたが、一般的に開発行為によります道路におきましては個人さんが優先、「私」が優先して、される場合もございますし、この場合については地域の活性化を図るために道路計画をネットワーク的に整備して地域の活性化を図るということをお聞きしております、就労事業ということで4月から着工しておりますけれども、事業の着工についてはそういうことで実施しておるところでございます。

それから将来の予定ということでございますが、合併しまして新市としましてはそこに市としての計画は別にもってございません。

それから将来的な補助事業ということでございますが、今年度がとりあえず特開事業で施工させていただきまして、特開事業をご存知のように今年度で終息いたしますので、その後の事業の展開については、新市で全般的な事業との取り扱い、先の建設委員会だったか、ご答弁差し上げましたように、今後1年以内に計画を見直したりそういう機会が今から先出てくるものと考えております。

以上です。

○ 永末委員

要するに、会社としてもまだ何も計画がないということですかね。

それですね、私は先々本当にその地域を活性化するか何とかということの中で、あの地域に何の活性化があるんですかね、実際言って、今の状況から。

本来言うなら人口もそう増えてない状況、ほかに庄内の勝島団地、旧庄内ですね、勝島団地と言って相当な区画を整備してるんですよ、住宅地を。

これも売れないような状態、6戸しか売れてないというような状態の中においてですよ、活性化、あれ何のための活性化ですか、そうであれば私は実際、これ討論のようになりようごとあるばってんですね、実際ああいう緑が生えた方がいいと思うんですよ、人のために。

それをあえて道を造って、暴走族の走る場とかね、ゴミ捨て場になるようなことはちょっとやめてほしいと思うんですよ。

それについて何かあったらちょっとどうしてもしないといかない理由を活性化以外の理由で何かあったら教えてください。

○ 建設部長

市町村が造ります道路は一般的に足元道路ということで地域にやっぱり土地があれば、道ができることで活性化につながるという基本的なスタンスは持っております。

失礼しました、もう一点何でしたでしょうか。

(発言するものあり)

○ 建設部長

道路があそこで工事をする必要性、またはどうして必要かということでございますが、私どもは、これは決して言い訳で言うつもりではございませんけれども、やはり1市4町が合併しまして、各合併前の要請として必要であるということで計画されたものでございますので、そういう面でこういう道路についても整備をしていくというスタンスで今のところおります。

○ 永末委員

旧町が出したから云々、それわかるんですよ。

順番をわざと上にあげて作ってしたからいいということはわかるんですよ。

ただね、それを事業に入るときにもっともっと煮詰めてここに本当に必要があるのか、ないのかというのは見て、それから決めてほしかったですね。

こういうね、「旧町が出したからそれは当然ここにあげときましょ」とかそういうことじゃなくて、今これなんで合併したかということですよ、基本にかえれば。

合併はするのはお金がないから今後苦しくなる、財政上苦しくなるからやりようわけでしょ。

ならね、そういうときに要するに本当にこれが必要か、不必要なのかということも検討せずくにやったと私は思ってるんですよ。

そういう本当に例えば1円のお金でも、われわれ税金として払いますよね、税金払わんでいいということ言われんでしょうが、そっちたちは。

せっかく一所懸命払いようものを無駄遣いしてもらったら困るんですよ。

ということで私はちょっとここんところ皆さんのあとが何かあると思いますので、期待して終わります。

○ 建設部長

立場としての私のほうの答弁にそういう一面もあったということではございますが、引き継ぎの中で、この道路は必要であるということで、私どもは引き継いでおりますし、今ご指摘されました点についても私どもも当然常日頃から考えておりますので、今後ともご指摘の点についても検討していきたいと考えております。

○ 副委員長

ほかに質疑はありませんか。

○ 人見委員

今日各所視察させていただきまして、今のような話もあろうかと思えます。

ただ委員長、よかったら次回に審議は十二分に時間をとっていただいて若干今日はそういう意味ではこのあたりでという思いをお願いをしたいわけですが、いかがでしょうか。

○ 副委員長

今、ここらあたりでというご意見がでましたけど、ほかにありましたら言うておけます。

○ 安永委員

今日はどうも本当ご苦労様でした。

私も初めて現地調査ということを経験したんですけど、お願いしたいのは資料をですね、この行くところの資料が何か手不足だったから、耳では聞くんですけど、やっぱりこういった物があれば、もっとわかりやすく、こちらも呑み込めたかなと思いますので、今度またこういう調査することがあれば資料を用意していただきたいと思います。

それだけです。

○ 副委員長

別に質疑・討論はございませんか。

(な し)

質疑ないものと思えます。

質疑・討論を終結させていただきます。

おはかりいたします。

所管事務の調査については、調査終了といたしたいと思えます。

これに異議はございませんでしょうか。

(異議なし)

異議なしと認めます。

よって、本件は調査終了とすることに決定いたしました。
ありがとうございました。
以上をもちまして、建設委員会を閉会いたします。
大変お疲れ様でした。